

# 『竹林整備作業施設の概要』

## 【目 的】

伐採した竹や落葉を効率的に処理するために、真空乾燥機にて乾燥させた生成品を園内で有効活用することにより、処理費用の削減や環境負荷を軽減し資源の循環を促進することを目的としています。

## 【施設概要】

建物構造：鉄骨造、平屋建て（建築面積 16m×11m、床面積 15m×10m）

用 途：作業場、倉庫

施 設：乾燥作業場（真空乾燥システム）

竹・落葉集積ヤード、移動式破砕機

※真空乾燥システムとは、真空乾燥機、循環水槽及び循環ポンプ等で構成される装置の総称になります。

外 壁：園内から調達した竹を用いて装飾

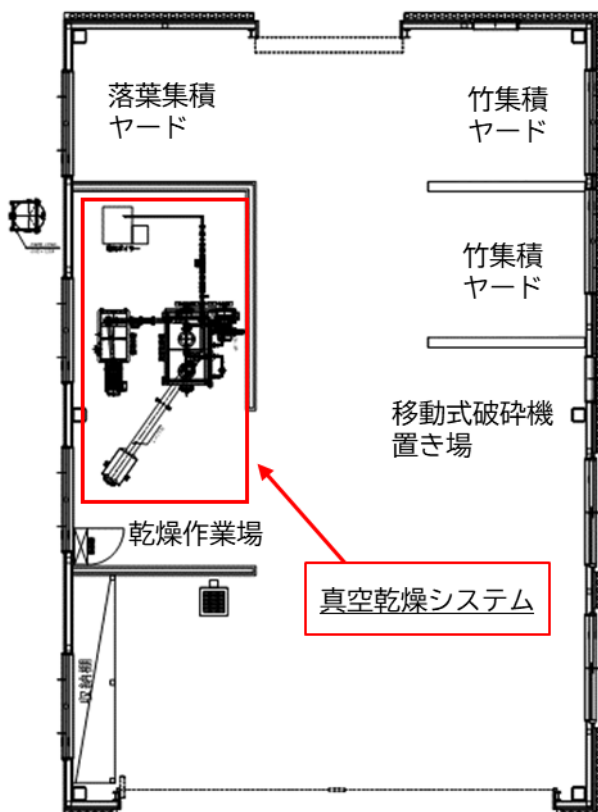
完 成：2025 年 11 月 17 日

## 【真空乾燥システムの能力】

乾燥前含水比（85%）⇒ 乾燥後含水比（10%以下）

10 時間乾燥した場合、原料 150kg ⇒ 乾燥物 34kg になる。

## 【平 面 図】



## 【完成写真】



# 竹の小径 竹林整備作業施設

この建物では、公園内で伐採した竹を再利用するための作業を行っています。

1

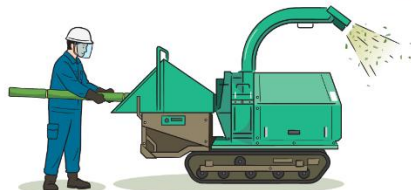
## 竹の間伐 (間引き)



竹は成長が早く、1日で1m以上伸びることもあると言われます。竹林は手入れをしないと竹が増えすぎて荒れてしまうため、定期的の間伐 (間引くこと) を行います。

2

## 竹を細かく砕く



間伐で切った竹を「移動式破砕機」に入れ、その場で細かく砕いてチップ状にします。チップ状にすることで、取り扱いやすくなります。

公園内  
竹の循環

## 生成品の利用

乾燥させた竹チップや落葉を公園内の花壇などの土に混ぜることで土壌が改良され、植物の成長にとって良い土づくりの材料になります。これまで処分していた伐採竹を再利用することで処分量を減らすことができます。



## 竹チップの乾燥

(真空乾燥システム)



チップ状になった竹に落葉を加えて機械で乾燥させます。真空ポンプを使って圧力をかけることで、短時間で効率的に乾燥させることができます。乾燥した竹チップや落葉は粉状で軽くなり、長期間保管もできるようになります。

4

3

### これまでに竹林整備を担った活動団体

- NPO 法人竹 ECO 活用
- かんかんみらいサポート
- ネイチャークラブ東海
- Catch・ball (心)

公園内で間伐した竹や落葉を細かく砕いて土に戻すことで自然の循環が生まれているね



竹から生まれた かぐや姫

連絡先

愛知県公園緑地課、愛知県尾張建設事務所  
(公財)愛知県都市整備協会 牧野ヶ池緑地管理事務所

令和\*\*年\*\*月作成